

## Annex 8 Major Interviewees by the Team (1/2)

### 1. Ministry of Labor and Social Affairs (MoLSA)

Mr. Seyed Hasan HEFDAHTANI Director General of International Relations

### 2. Technical and Vocational Training Organization (TVTO)

Dr. Mohammad Amin SAZGARNEJAD President  
Mr. Rahmatollah RAHMATI Vice President  
Dr. Samad IZADI Deputy, Technical and Vocational Training  
Mr. Hamid MANSOORNIA Deputy, Research and Development  
Mr. Mohammad Ghasem AKBARI Executive Director of Training  
Mr. Reza SAIDI Consultant, International Relations  
Mr. Parviz IMANI Director of Planning Office  
Mr. Masood AGHLAMI Director of Training for industries  
Mr. Koorosh SHAKERI Director of Examination  
Mr. Alireza TAHERPOOR Director of Training for agriculture and food industries  
Mr. Majid TEHRANIAN Director of Training for private institutions

### 3. Instructor Training Center (ITC)

Dr. Seyed Zainolabedin MOOSAVI Head  
Dr. Seyed Mohammadhoseyn Hoseyni Deputy, Finance and Administration  
Mr. Reza BAJOLVAND Deputy, Technical and Vocational Training  
Mr. Amir LARI Coordinator  
Mr. Rassool KHOSHIDEH Supervisor of AV Department  
Mr. Farshid BORHAN AZAD Supervisor of PG Department

### 4. Branch office of TVTO in Markazi Province

Mr. Bahram NAJAFIZADEH General Manager  
Mr. Nadar FAKHRI Deputy General Manager (Training & Research)

### 5. Technical and Vocational Training Centers (TVTCs) in Markazi Province

Mr. KARIMI Head, TVTC No. 4  
Ms. Monireh JOKAR Head, TVTC No. 7

### 6. Branch office of TVTO in Karaj Region

Mr. Seyed Akbar Ahad Zadeh General Manager  
Mr. Jamshid ASADI Deputy General Manager (Finance & Administration)  
Mr. Mohsen GORGI Deputy General Manager (Training & Research)

### 7. Technical and Vocational Training Centers (TVTCs) in Karaj Region

Mr. Seyed Reza Nayyeri Gilani Head, TVTC No. 1  
Mr. Abolghasem SHAHSAVAN Head, TVTC No. 3  
Ms. ASGARI Vice Head, TVTC No. 5 (Alzafra)

## Annex 8 Major Interviewees by the Team (2/2)

### 8. Embassy of Japan

Mr. Hideki ITO	Minister
Mr. Junji WAKUI	JICA Expert

### 9. Japanese Experts at ITC

Mr. Yoshiaki UMIMAE	Chief Advisor
Mr. Daijiro KATO	Coordinator
Mr. Akira TOMINAGA	Expert on Audio-visual Aids
Mr. Masaru HIROKAWA	Expert on Instruction Methods
Mr. Gholamreza NOSRATIEH	Consultant of the Japanese Experts



## Annex 9 List of Evaluators

### Evaluators: Japanese Side

Mr. Motoharu WATANABE	Team Leader
Ms. Mayumi SATO	Vocational Training
Mr. Kaido IKEDA	Cooperation Planning
Mr. Manabu FUJIKAWA	Evaluation Analysis

### Evaluators: Iranian Side

Mr. Rahamatollah RAHMATI	Vice president, TVTO
Dr. Samad IZADI	Deputy, Technical and Vocational Training, TVTO
Mr. Rezagholi ALLAHYARY	Deputy, Finance and Administration, TVTO
Mr. Hamid MANSOORNIA	Deputy, Research and Development, TVTO
Mr. Reza SAIDI	Consultant, International Relations, TVTO
Dr. Seyed Zainolabedin MOOSAVI	Head of Instructor Training Center, ITC
Mr. Seyed hasan HEFDAHTANI	Director General of International Relations, MOLSA
Mr. Mohammad Ghasem AKBARI	Executive Director of Training, TVTO
Mr. Parviz IMANI	Director of Planning Office, TVTO
Dr. Seyed Mohammadhoseyn Hoseyni	Deputy, Finance and Administration, ITC
Mr. Reza BAJOLVAND	Deputy, Technical and Vocational Training, ITC
Mr. Amir LARI	Coordinator, ITC
Mr. Rassool KHOSHIDEH	Supervisor of AV Department, ITC
Mr. Farshid BORHAN AZAD	Supervisor of PG Department, ITC



2. PDM (和文)

資料2 プロジェクトデザインマトリックス (PDM)

プロジェクト名: 指導員訓練センターにおける職業訓練視聴覚教材向上計画

対象地域: イラン国内

対象グループ: 指導員訓練センター (視聴覚部門及び指導技法部門) 及びITVC 指導員

作成日: 2001年5月20日 (2002年1月20日にサインされたR/Dに添付されたもの) ※2002年10月6日のJCCで各成果における「C/Pの理解度」を85%に設定したので、その数値を記載。

協力実施期間: 3ヶ年

プロジェクトの要約 (NARRATIVE SUMMARY)	指標 (INDICATORS)	指標 (MEANS OF VERIFICATION)	外部条件 (IMPORTANT ASSUMPTIONS)
<p>上位目標(OVERALL GOAL)</p> <p>職業訓練センター(ITVC: Technical and Vocational Training Center)において質の高い職業訓練が行われる。</p>	<p>ITCで制作されたビデオの活用度 全ITVCで行われるコースのうち視聴覚教材が必要とされる全てのコースについてビデオ教材が制作される。 ITVCで制作された視聴覚教材の数量、制作時期、品質。 ITCの、視聴覚教材と指導技法における指導員養成コースで訓練を受けた指導員による、職業訓練の 数、時期、質 ITCで制作されたビデオ教材の本数、時期、品質 (ビデオ制作対象コース数は14コース)</p>	<p>ITVCにおける、指導員、訓練生に対するインタビュウ、質問票 ビデオ制作計画と制作記録 ITCにおける訓練生、受講生、日本人専門家へのインタビュウ・質問票</p>	<p>職業訓練センター(ITVC)に関する政策がない。 職業訓練庁(TVTO)に関する政策に変更がない。</p>
<p>プロジェクト目標(PROJECT PURPOSE)</p> <p>ITCにおいて、職業訓練のための視聴覚教材制作技術及び指導技法の水準が向上する。</p>	<p>1) 作業計画(完了時期、内容) 制作された日常保守管理マニュアルの数、時期、内容 実施された訓練の回数、時期、出席者 日常保守活動記録 C/Pの理解度が85%までになる。 技術移転の程度</p>	<p>作業計画書 制作されたマニュアルリスト 訓練記録 作業記録 C/P、日本人専門家へのインタビュウ・質問票</p>	<p>指導員訓練センター(ITC)に関する政策に変更がない 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策</p>
<p>2) ITCで適切なビデオ機材を用いたビデオ教材の開発・制作ができるようになる</p>	<p>2) ニーズアセスメント、評価作業の実施時期、内容 作業計画(完了時期、内容) 制作された訓練マニュアルの数、時期、内容 実施された訓練の回数、時期、出席者 制作されたビデオ教材の本数、時期、品質 (ビデオ制作対象コース数は14コース) C/Pの理解度が85%までになる。 技術移転の程度</p>	<p>アセスメントと評価報告書 作業計画書 制作されたマニュアルリスト 訓練記録 制作されたビデオ教材の作業記録 C/P、日本人専門家へのインタビュウ・質問票</p>	<p>指導員訓練センター(ITC)に関する政策に変更がない 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策</p>
<p>3) ITCが、視聴覚教材制作と指導技法における、指導員訓練コースを運営できるようになる。</p>	<p>3) ニーズアセスメント、評価作業の実施時期、内容 作業計画(完了時期、内容) カリキュラムの開発 制作された訓練マニュアルの数/コース別、時期、内容 開発された教材数/コース別、時期、内容 実施されたコースの回数、時期、内容、出席者 C/Pの理解度が85%までになる。 技術移転の程度</p>	<p>アセスメントと評価報告書 作業計画書 カリキュラム開発記録書 開発記録 開発記録 訓練記録 C/P、日本人専門家へのインタビュウ・質問票</p>	<p>指導員訓練センター(ITC)に関する政策に変更がない 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策 指導員訓練センター(ITC)に関する政策</p>

活動(ACTIVITIES)	投入(INPUTS)	外部条件 (IMPORTANT ASSUMPTIONS)
1)-1 機材の調達及び保守作業に係る計画を作成する。 1)-2 必要機材の調達及び据え付けを行う。 1)-3 機材の日常保守管理マニュアルを作成する。 1)-4 視聴覚部門スタッフへの保守管理技術の訓練を実施する。 1)-5 保守管理マニュアルに沿った機材整備を行う。	イラン側 1. プロジェクト実施に必要なC/Pと総務担当者の配置 ・視聴覚部門8名 ・指導技法部門6名 2. 建物と設備の提供 3. 家具と消耗品類の提供 4. 予算の配分 5. 関税と内国税の免除措置・ 6. 専門家用車輛の提供	日本側 1. 専門家派遣 ・長期専門家 チーフアドバイザー：1名 業務調整員：1名 視聴覚教材制作：1名 指導技法：1名 ・短期専門家 年間 3～4名 2. 研修生受入（年間2～3名） 3. 機材供与 視聴覚教材制作及び指導技法用機材
2)-1 ビデオ教材制作に係るニーズアセスメント及び評価作業を実施する 2)-2 ビデオ教材制作に係る作業計画を作成する。 2)-3 ビデオ教材制作に係る訓練マニュアルを計画・開発する。 2)-4 視聴覚部門スタッフへのビデオ教材制作方法に関する訓練を実施する。 2)-5 視聴覚部門スタッフがビデオ教材を制作する。		前提条件(PRE-CONDITIONS) ・指導員訓練センターの要員が予定通り確保される ・指導員訓練センターの施設が予定通り整備される ・必要な予算が配分される
3)-1 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係るニーズアセスメント及び評価作業を実施する。 3)-2 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る作業計画を作成する。 3)-3 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係るカリキュラムを開発する。 3)-4 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る訓練マニュアルを開発する。 3)-5 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る、受講者用訓練教材を開発する。 3)-6 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースを実施する。		

評価グリッド

イラン・イスラム共和国職業訓練視聴覚教材向上計画終了時評価調査

5.項目 その他	評価設問		結果
	大項目	小項目	
妥当性	プロジェクトが目指す効果は、イラン国の国家政策に合致しているか。		イラン政府は、第3次国家開発計画(2000-2004)において職業訓練や人材育成を優先課題に掲げており、また、現在策定中の第4次国家開発計画(2005-2009)においても、質の高い、ニーズに適合した職業訓練を実施することが謳われ、TVIOやITCの果たすべき機能が明示されている。
	ターゲットグループの選定は妥当であったか。	ターゲットグループの選定は妥当であったか。 ITCへの協力内容に対するニーズは高いか。	本プロジェクトにおいて、イラン国内で唯一の指導員養成機関であるITCをカウンタートとして選定したことは、視聴覚教材及び指導技法の効率的に普及する観点からも妥当であった。また、TVTCには、本プロジェクトで開発した視聴覚教材や指導技法に対する十分な需要があった。
		ターゲットグループの規模は適切か。 (ITC視聴覚部門及び指導技法部門のC/P数)	ターゲットグループの規模は適切であった。
		ターゲットグループの規模は適切か。 (TVTC指導員・研修受講者の人数)	プロジェクトドキュメントで記述された目標となる指導員訓練数は、TVIOが単独で指導員を採用できずに、企画庁(MPO)やその他の他の省庁も関与することを勘案すると、多少過大であったと考えられる。
		日本の援助政策に合致しているか。プロジェクトのアプローチは手段として妥当か。	1999年に実施された日本・イランの政策協議では、イランに対する日本の援助施策の中で職業訓練の改善に重点が置かれている。 国際協力機構による国別援助指針においても、職業訓練の改善に重点が置かれている。

5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
有効性 (予測)	アウトプットは達成されているか。		3 つの成果の有効性は十分高いことが確認された。また、成果がプロジェクト目標の達成に転換していることも確認された。
	ITC において、視聴覚教材作成技術及び指導技法の水準が高まったか。	ITC で作成されたビデオ教材の品質は高まったか。	
		ITC で作成されたビデオ教材の量、制作時期は適切か。	作成されたビデオ教材に対する TVTC の指導員や訓練生の評価は総じて高い。
		ITC における指導技法コースは、受講者の理解度を高められたか。	終了時評価までに 10 分野の、17 本のビデオ教材が完成し、残された協力期間内に、あと 11 のビデオ教材が制作・配布される予定である。
	プロジェクトのアウトプットはプロジェクト目標の達成に貢献しているか。	視聴覚教材開発・制作等に必要な教材の導入、保守管理が適切になされているか。	TVTC の指導員によれば、本プロジェクトで実施された指導技法の訓練コースあるいはセミナーへの評価は高く、彼らの一部はその内容を直ぐに自分たちの講義に取り入れている。
		TVTC のニーズ/訓練要望に沿ったビデオ教材や指導技法となっているか。	機材の備え付けはほぼスケジュールどおりに実施された。通常の保守管理は全てのカウンターパートが、作成されたマニュアルに沿って実施している。また、各部門に 1 名ずつ、保守管理責任者を指名した。
		カウンターパートのビデオ教材開発・制作の能力は向上したか。	視聴覚部門及び指導技法部門ともに、複数回のニーズ調査及び評価活動を実施しており、TVTC のニーズ/訓練要望に沿ったビデオ教材の制作や指導技法の開発に努めている。TVTC の指導員に対するインタビュアーでも総じて評価は高い。
		カウンターパートの訓練コース運営能力は向上したか。	日本人長期専門家の評価、短期専門家によるテスト結果あるいはカウンターパートの自己評価によれば、カウンターパートの視聴覚教材制作の能力は格段に向上している。
			2002 年以降に実施された指導技法の訓練コースは指導員養成訓練が 19 回、向上訓練が 2 回、セミナーコースが 4 回となっている。総参加者数 (実績) は 1,135 人であるが、プロジェクトの成果を反映する実績としては、2 年以降の 804 人である。日本人長期専門家の評価あるいはカウンターパートの自己評価によれば、カウンターパートの指導技法の能力は格段に向上している。
	プロジェクト目標達成を阻害した要因はあるか。		新規に雇用する指導員の採用時期が予定より遅れた。

5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
効率性	達成されたアウトプットからみて、投入の質・量・タイムは適切か。	専門家派遣人数、専門分野・能力、派遣時期・期間は適切か。	日本側の人的投入は、ほぼ適切な時期に妥当な人数で実施されており、PDM に沿った活動を効率よく展開した。
		供与機材の種類、量、設置時期は適切か。	供与機材の種類、量、設置時期はほぼ適切であった。
		研修員受け入れ人数、研修内容、研修期間、受け入れ時期は適切か。	ほぼ適切だったが、一部の参加者から研修内容に比べて、研修期間が短かったというコメントもあった。
		C/P の人数、配置時期、能力は適切か。	2名のC/Pの配置が6ヶ月程度遅れたのを除けば、C/Pの人数、配置時期、能力はほぼ適切であった。
		建物・施設の質、規模、利便性は適切か。	イラン側は日本人専門家の執務スペース、供与機材の保管スペース等を計画通り供与した。また、視聴覚教材制作作用のスタジオリームを改築した。
		イラン側のプロジェクト予算は適切な規模か。執行において滞りはないか。	イラン側は相応のローカルコストを負担した。その金額はイラン歴1883年度の10月までに約52億リアルに達している。
		プロジェクトマネージメントは適切であったか。	合同調整委員会(JCC)及び運営委員会(SC)は、プロジェクトの進捗及び達成状況をモニタリングするために実施され、有効に機能した。
		効率性を阻害した要因はあるか。	2名のC/Pが異動したが大きな影響はなかった。C/Pの総じて高い定着率は成果の達成に貢献した。



5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
インパクト (予測)	上位目標「職業訓練センター(TVTC)において質の高い職業訓練が行われる」が達成される見込みはあるか。	ITCで制作されたビデオはTVTCでどのくらい活用度されているのか。	2003年12月～評価時点までに17本の視聴覚教材が作成され、うち13本が全国のITVCに配布されて活用されている。 現時点で評価するには時期尚早と言える。しかしながら、ITCの両部門における訓練コースは、着実に参加者(ITVCの指導員)が増えており、また、彼らから高く評価されている。
		ITCで訓練を受けたTVTC指導員による職業訓練の質は高まったか。	
	その他の波及効果はあるか。	プロジェクトが直接関与しない(ビデオ作成や指導技法以外の)ITCの訓練コースの指導員の能力向上はあるか。	ビデオ制作時のシナリオ作成の依頼を通じて、本プロジェクトは、ITCの他の部門のインストラクターを巻き込み、彼らの意識にも大きな影響を与えた。
		プロジェクトが直接関与しないITCの他の訓練コースのカリキュラムや教材の改善に良い影響を与えたか。	指導技法の訓練コース/セミナーの参加を通じて、ITCの他の部門のインストラクターに影響を与え、カリキュラムや教材の改善などが少しずつ進んでいる。
		民間企業、産業界等の発展に寄与する支援やサービスを提供しているか。	また、本プロジェクトは民間企業に対する支援を直接的に行っているわけではないが、ニーズ調査や評価活動を通じて、各他のITVCの指導員に対して、民間企業との連携強化を促すことになった。
		その他の予期せぬ影響(正負)はあるか。	アラック、サーヴェあるいはカラジにおける現地踏査を通じて、ITVCの指導員がビデオ教材に大きな関心を寄せ、職業訓練における有効なツールであると認識していることが確認できた。また、彼らは、より早くより多くのビデオ教材の制作・普及を要望した。

5 項目	評価設問		結果
	大項目	小項目	
自立発展性 (見込み)	職業訓練あるいは技術教育における TVTO、ITC の位置づけは明確か。	ITC に運営管理能力は備わっているか。	現在策定中の第 4 次開発計画 (2005-2009) では、社会や民間のニーズに沿った職業訓練が一層求められ、TVTO や ITC の機能強化も謳われている。  プロジェクト開始後、ITC の所長は 2 度替わったものの、総じて、ITC の管理運営能力は高いと考えられる。  政府からの国家予算の配分は、引き続き確保されるものと考えられる。  第 4 次開発計画 (2005-2009) では、企業のニーズに沿った職業訓練が一層求められており、TVTO や ITC の幹部をその動向を十分認識している。
	事業を継続するだけの能力が ITC に備わっているか。	財務状況は良好か。  TVTC、企業等との良好な連携を継続・発展させる能力が備わっているか。	
	移転された技術は定着しているか。	C/P に、視聴覚教材制作、指導技法における必要な知識技能が身に付いたか。	技術移転はプロジェクト開始以降、日本人専門家によって成功裏に実施されている。カウンセターパーターの基礎的能力及び潜在力 (素質) は全体的に高く、既に相応の能力を身につけている。このことは、表意か調査時のアンケート結果、日本人専門家の評価、短期専門家による試験結果あるいはカウンセターパーターによる自己評価によっても裏付けられる。
	移転された技術は、ITC の他の訓練コースに普及しているか。	移転された技術は、ITC の他の訓練コースに普及しているか。	移転された技術は基本的に両部門に限定されているが、ビデオ制作時のシナリオ作成の依頼や指導技法の訓練コース参加等を通じて、影響を与えていくと考えられる。
	機材の維持管理は適切に行われているか。	機材の維持管理は適切に行われているか。	日常の保守点検はマニュアルも整備され、カウンセターパーターが実施している。ただ、定期点検や予期せぬ故障については、まだ十分な技術を有しているとは言い難い。

4. 専門家派遣実績

List of dispatch of experts

NO	Name	Expertise / Field	Period of assignment	Long/Short-term
1	Yoshiaki UMIMAE	Chief advisor	29 May 2002-31 May 2005	Long-term
2	Daijiro KATO	Coordinator	29 May 2002-31 May 2005	Long-term
3	Masaru HIROKAWA	Instruction methods	1 Jun. 2002-31 May 2005	Long-term
4	Akira TOMINAGA	Audio-visual aids production	29 May 2002-31 May 2005	Long-term
5	Yoshimasa MATSUURA	Operation of video production equipment	25 Nov. 2002-22 Dec. 2002	Short-term
6	Masao MORI	Maintenance of video production equipment	23 May 2003-4 Jun. 2003	Short-term
7	Takeshi ITO	Video production in "Arc Welding"	11 Aug. 2003-7 Sept. 2003	Short-term
8	Masanori UEKI	Management training program	25 Aug. 2003-5 Oct. 2003	Short-term
9	Naoyuki ISHIMOTO	Video production in "Electronics"	23 Nov. 2003-19 Dec. 2003	Short-term
10	Kenji NAKAMURA	Digital VTR&camera maintenance service	14 Feb. 2004-9 Mar. 2004	Short-term

5. カウンターパートリスト

List of counterparts

Audio-visual Department (Current number of counterparts is eight (8))

No	First and Last Name	Year of Birth	Qualification Obtained	Record of Service	Record of Service in Project	Present Status
1	Mr. Mohsen ELAHI	1966	Associate Degree	10 years	1 Jun. 2002	Instructor
2	Mr. Mansour BABAKHANI	1971	Associate Degree	11 years	1 Jun. 2002	Instructor
3	Mr. Mohsen TAVALLAIE	1973	BS Degree	4 years	4 Aug. 2002	Instructor
4	Mr. Mohammad Reza TORABI	1976	Diploma	8 years	21 Nov. 2002	Instructor
5	Mr. Hasan TAGHIZADEH	1959	Associate Degree	22 years	1 Jun. 2002	Instructor
6	Mr. Rassool KHOSHIDEH	1966	BS Degree	16 years	1 Jun. 2002	Supervisor
7	Mr. Faramarz ROSTAMI	1974	Associate Degree	4 years	1 Jun. 2002	Instructor
8	Mr. Gholam Reza HASHEMI	1971	Associate Degree	7 years	21 Nov. 2002	Instructor

Pedagogy Department (Current number of counterparts is six (6))

No	First and Last Name	Year of Birth	Qualification Obtained	Record of Service	Record of Service in Project	Present Status
1	Mr. Farshid BORHAN AZAD	1969	Associate Degree	15 years	1 Jun. 2002	Supervisor
2*	Mr. Jamshid ASADI	1965	MA Degree	15 years	1 Jun. 2002 to 7 Jun. 2004	TVTO Karaj
3	Mr. Ahmad BODAGHI	1972	BS Degree	8 years	1 Jun. 2002	Instructor
4	Mr. Ali ESMAIELZADEH	1968	Associate Degree	15 years	1 Jun. 2002	Instructor
5	Mr. Naser KOSARI	1955	BS Degree	22 years	1 Jun. 2002	Instructor
6	Ms. Maltheh KHEIROLLAHI	1968	BS Degree	4 years	8 Nov. 2003	Instructor
7	Mr. Abbas KARIMI	1971	BS Degree	4 years	8 Nov. 2003	Instructor
8*	Mr. Moosa JABBARI	1967	MS Degree	11 years	1 Jun. 2002 to 1 Dec. 2003	PhD course

Note: Current counterparts are being assigned as a full time instructor. (\*) is a person who was transferred from ITC.

6. 研修員受入実績

List of counterparts trained in Japan

Audio-visual Department

No	First and last name	Course	Training Institution	Training Period
1	Mohsen ELAHI	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	5 Jan. to 6 Mar. 2003
2	Mansour BABAKHANI	Digital Video Production	JICA OKINAWA Center	19 Aug. to 12 Dec. 2003
3	Mohsen TAVALLAIE	Digital Video Production	JICA OKINAWA Center	19 Aug. to 12 Dec. 2003
4	Mohammad Reza TORABI	Digital Video Production	JICA OKINAWA Center	24 Aug. to 18 Dec. 2004
5	Hasan TAGHIZADEH	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	4 Oct. to 9 Nov. 2004
6	Rassool KHOSHIDEH	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	5 Jan. to 6 Mar. 2003
7	Faramarz ROSTAMI	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	8 Oct. to 21 Nov. 2003
8	Gholam Reza HASHEMI	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	4 Oct. to 9 Nov. 2004

Pedagogy Department

No	First and last name	Course	Training Institution	Training Period
1	Farshid BORHAN AZAD	Seminar on Enhancing Vocational Training	OVTA	8 Oct. to 22 Nov. 2002
2	Jamshid ASADI	Seminar on Training Management	OVTA	10 Jun. to 27 Jul. 2003
3	Ali ESMAILZADEH	Seminar on Enhancing Vocational Training	OVTA	7 Oct. to 21 Nov. 2003
4	Naser KOSARI	Seminar on Enhancing Vocational Training	OVTA	7 Oct. to 21 Nov. 2003

## LIST OF ANNUAL DONATED EQUIPMENT

YEAR	NO	EQUIPMENT (SPECIFICATION)	DONATED	CLEARANCE	CURRENT	FREQUENCY IN USE	MANAGERIAL STATUS	REASON OF CLEARANCE
<i>8 AUDIO-VISUAL EQUIPMENT</i>								
2002	8-1	PIN MIC (SONY/ECM-44B)	2		2	A	A	
2002	8-2	BATTERY CHARGER (SONY/BC-1WB)	1		1	A	A	
2002	8-3	MIXER (MACKIE/DFx6)	1		1	A	A	
2002	8-4	LENZ (SONY/VCL-HGD0758)	2	1	1	A	A	By welding spark
2002	8-5	SCREEN	2		2	B	A	
2002	8-6	PIN MIC (SONY/ECM-77B)	2		2	A	A	
2002	8-7	MAGIC CG SYSTEM (RASA CO/CG8112-24)	1		1	A	A	
2003	8-8	SCANNER (CANON D2400UF)	1		1	A	A	
2003	8-9	TAPE RECORDER (SONY RV5)	1		1	A	A	
2003	8-10	DRUM ASSY (DEH-19A-R A-8327-026-A)	2		2	B	A	
2003	8-11	SONY VTR (DSR-1600P)	1		1	A	A	
2003	8-12	AUDIO MIXER (MODEL KS-T2000)	2		2	A	A	
2003	8-13	VHS RECORDER (SONY E89)	1		1	A	A	
2003	8-14	CAMERA SUPPORT	1		1	A	A	
2003	8-15	DUPLICATOR (52x32x52 LITEON)	1		1	A	A	
2003	8-16	MONITOR (MODEL: PVM-9L2)	2		2	A	A	

2003	8-17	GRAY SCALE CHART (MODEL: GS-2L)	2		2	A	A
2003	8-18	WIRELESS MICROPHONE SET (MODEL: UWP-C1)	4		4	A	A
2003	8-19	SCANNER (HP 4500C/SN:1082) FOR PG DEPT.	1		1	A	A
2003	8-20	MICROPHONE SET (MODEL:MKH416-P48U-3)	2		2	A	A
2003	8-21	DVCAM CASSETTE RECORDER (DSR-1800P)	2		2	A	A
2003	8-22	SDI BOARD (DSBK-1801) MOUNTED ON ITEM 8-21	2		2	A	A
2003	8-23	TBC REMOTE CONTROLLER (SONY/BVR-50P)	2		2	A	A
2003	8-24	RACK MOUNT KIT (RMM-131)	2		2	A	A
2003	8-25	REMOTE CABLE (RCC-5G)	2		2	A	A
2004	8-26	EDIUS-2 (VIDEO EDITING SOFTWARE)	1		1	A	A

**9 MEASUREMENT TOOL**

2003	9-1	FREQUENCY COUNTER (SC 7205)	1		1	B	A
2003	9-2	DIGITAL MULTI-METER (VOAC7411)	1		1	B	A
2003	9-3	OSCILLOSCOPE (SS7825)	1		1	B	A
2003	9-4	MULTI TEST SIGNAL GENERATOR (MODEL TG19CA)	1		1	B	A
2003	9-5	FUNCTION GENERATOR (FG-120)	1		1	B	A

**10 OFFICE SUPPLIES**

2002	10-1	COPY MACHINE (CANON/IR-2800 DIGITAL COPIER)	1		1	A	A
2002	10-2	FAX MACHINE (PANASONIC/KX-752)	1		1	A	A



2002	10-3	HANDY COPY (MINOLTA/1054)	1		1	A	A
2003	10-4	DVD WRITER (SONY DVD RW)	1		1	B	A
2003	10-5	PRINTER (EPSON CX-3200)	1		1	A	A
2003	10-6	LASER COLOR PRINTER (HP-2500)	1		1	A	A
2003	10-7	PORTABLE OHP (UESEGANG PORTABLE E)	1		1	B	A

**11 OTHERS**

2002	11-1	VEHICLE (PEUGOUT PARS)	1		1	A	A
2003	11-2	HEATER FOR WELDING	1		1	A	A
2003	11-3	PLC (OMRON SYSMAC CPM2A-40CDR-A)	2		2	B	A
2002	11-4	HANDY PANEL FOR PLC (CQM1-PRO-01-E)	2		2	B	A

付属資料6-6-1

## ニース調査及び評価活動

成果	目的	実施時期	調査項目	対象	備考
ビデオ教材制作	現状把握	2002年7月～11月	AVスタッフ数、保有機材、保有教材	TVTC	
	ビデオ教材制作コースの選定	2002年12月～2003年2月	ビデオ制作を希望するコース	TVTO支部	
	ビデオ教材の評価	2003年10月～	理解度、時間、効果、質	該当するセンター	

訓練コース	現状把握	2002年7月～11月	理解度テスト、カリキュラム見直し	TVTC	
	訓練コースの把握	2003年7月～2004年5月	経歴、希望する訓練、期間	TVTC AV指導員	
	訓練コースの評価	2004年8月～10月	訓練の内容、時間、講師の質、満足度	コース参加者	

9. 視聴覚教材制作作業計画

付属資料6-6-2

ビデオ教材制作作業計画(May. 2003～Jun. 2004)

コース名	計画 実績	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	完成日	教室型 完成日
Motor Vehicle Engine Repair	計画	-	-	-	-	↑										2003年 10月29日	2004年 7月12日
	実績																
Arc Welding	計画		-	-	-	-	↑									2003年 9月17日	2004年 7月7日
	実績																
Electronics	計画					-	-	-	-	↑						2004年 4月17日	2004年 6月29日
	実績																
CNC Turning	計画						-	-	-	-	↑					2004年 2月17日	2004年 4月25日
	実績																
Industrial Electricity	計画									-	-	-	-	↑		2004年 6月22日	2004年 10月27日
	実績																
IT & Computer	計画										-	-	-	-	↑	2004年 6月30日	2004年 9月26日
	実績																

(注)バーチャー Nは、実習場型ビデオ制作の場合。

ビデオ教材制作作業計画(Jun. 2004~May. 2005) 2004年10月末現在

コース名	計画 実績	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	完成日	教室型 完成日
Electro hydraulic & Pneumatic	計画	---	---	→											2004年 10月24日	2004年 9月27日
	実績	→	→	→	→											
Welding Test	計画	---	---	→												2004年 8月31日
	実績	→	→	→	→											
Motor Vehicle Electricity	計画			---	→	→	→									2004年 10月30日
	実績			→	→	→	→									
Precise Instrumentation	計画				---	→	→	→								
	実績				→	→	→	→								
Carpentry	計画						---	→	→	→						
	実績						→	→	→	→						
Drawing(AutoCAD)	計画						---	→	→	→						
	実績						→	→	→	→						
Plumbing	計画										---	→	→	→		
	実績										→	→	→	→		
Home Appliances Repair	計画										---	→	→	→		
	実績										→	→	→	→		
Audio-visual	計画														2004年 10月19日	
	実績				→											

10. 視聽覺教材制作実績総表

Monitoring Sheet <Level 1> (Project Purpose & Outputs)

Project Purpose	Indicators	1st year (Jun.2002-May.2003)		2nd year (Jun.2003-May.2004)		3rd year (Jun.2004-May.2005)				
		1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	
Standards of the ITC are improved in terms of production of audio-visual aids and instruction methods.	Video aid produced (number, date, quality) (Video aid for 14 courses in total are produced)	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Degree of understanding of participants of audio-visual courses (Examination pass ratio of graduation test becomes over 90%)	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Outputs	Indicators	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act
			Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan
			Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act
			Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan
			Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act
			Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan
			Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act
			Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan
Plan			Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
Act			Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	
1.The equipment necessary for the development, production and use of audio-visual aids is introduced into the ITC; and staff of the ITC gain the ability to maintain the equipment, which allows for the continuous use of the equipment.	Working plan (date of completion, contents)	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Routine maintenance manuals produced (number, date, contents)	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Training carried out (number, date, attendants)	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Routine maintenance activities carried out	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (85% and over).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Degree of the technology transfer.	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Working plan (date of production, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Manuals produced (number, date, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Training carried out (number, date, contents, attendants).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
2.The ITC gains the ability to develop and produce video aid using the adequate video equipment.	Video aid produced (number, date, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (85% and over).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Degree of the technology transfer.	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Working plan (date of production, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Curricula developed (number[courses], date, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Training manuals developed for instructors (number[courses], date,contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Training materials developed (number[courses], date, contents).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Courses conducted (number, date, contents, attendants).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
	Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (85% and over).	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	
3.The ITC gains the capacity to manage the instructor's training courses on audio-visual aids.	Degree of the technology transfer.	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	Plan	Act	

## 11. マニュアルリストについて

付属資料 6-6-4a

### マニュアルリストについて

- ・ マニュアルリストは別添の通り。
- ・ ビデオ教材制作欄の備考の「翻訳」はマニュアル開発段階では独自に開発する知識が不足していると判断し、既存のビデオ制作教材及び機器操作マニュアルをペルシャ語に翻訳の上、これをベースに作成したもの。
- ・ また「開発」は、上記のマニュアルや教材、研修で使ったマニュアル等を参考にカウンターパートが専門家の指導の下、作成したもの。

マニュアルリスト

付属6-6-4b

		タイトル	時期	
保守管理	1	Video Equipment Routine Maintenance Manual	2002年11月中旬～2003年9月中旬	
		AV-1	Lets Make Video Training Aids	2002年11月上旬～2003年12月中旬
		AV-2	An Introduction to video shooting	2002年11月上旬～2003年12月中旬
		AV-3	Camerawork	2002年11月上旬～2003年13月中旬
		AV-4	Lighting	2002年11月上旬～2003年14月中旬
		AV-5	Video Editing	2002年11月上旬～2003年15月中旬
		AV-6	Special Video Editing Techniques	2002年11月上旬～2003年16月中旬
		AV-7	Sound Recording and Editing	2002年11月上旬～2003年17月中旬
		AV-8	Script writing	2002年11月上旬～2003年18月中旬
		Technical Cooperation and video	2002年11月上旬～2003年19月中旬	
ビデオ教材制作	1	Script Writing for Video	2002年11月上旬～2003年20月中旬	
		1	Digital videocassette Recorder	1800/1800p
		2	Digital videocassette player	1600/1600p
		3	Digital Camcorder	
		4	Editing Control Unit	
		5	DME Switcher	700A/700AP
		6	Color Video Camera	
		7	Digital videocassette Recorder	DSR-1/1P
		8	LCD Data Projector VPL	
		9	Trinitron Color Video Monitor	
	ビデオ教材制作	2	Audio Mixer	SRP-V200
			PAL VECTORSCOPE	LEADER5851V
			Camera Adaptor	CA-TX7/TX7P
			WAVEFORM MONITOR	LEADER5860V-5861V
			Digital Limiter/Delay	SRP-L300
			Digital video Cassette Recorder	DSR-30,DSR-30P
			Video Cassette Recorder	SLV-ED100ME/MI/ML
			Visual Presenter	ELMOHV-5500XG
			Compact Disk player	CDP-D11
			Stereo Cassette Deck	TASCAM122MKIII/112RMKII/112MKII
			Trinitron Color Video Monitor	
			Camera Control Unit	
			Remote Control Panel	
			Standards Converter	
Videocassette Recorder	IPVW-2800P			
ビデオ制作訓練コース	3	Basic knowledge	2003年10月上旬～2004年5月末	
		Script writing	2003年10月上旬～2004年5月末	
		Video Shooting	2003年10月上旬～2004年6月末	
		Lighting	2003年10月上旬～2004年7月末	
		Video Editing	2003年10月上旬～2004年8月末	

13. カウンターパートに対する保守管理に係る訓練記録

カウンターパートに対する保守管理に係る訓練記録

付属資料6-6-5

回数	担当者	内容	時期	時間	出席者	備考
1	短期専門家による訓練	メンテナンス技術全般	2003/5/24～ 2003/6/2	終日	8名 (カウンターパート(全員))	
2	国営テレビ局専門家による訓練	テレビ基礎技術	2003/5/14～ 2003/7/23	1日4時間 合計9回	8名 (カウンターパート(全員))	技術担当カウンターパートのみ
3	短期専門家による訓練	メンテナンス技術全般	2004/2/14～ 2004/3/9	終日	5名	技術担当カウンターパートのみ
4	国営テレビ局専門家による訓練	メンテナンス技術全般	2003/10/1～	週1回	5名	技術担当カウンターパートのみ

カウンターパートに対するビデオ制作に係る訓練記録

回数	担当者	内容	時期	時間	出席者	備考
1	長期専門家による訓練	ビデオ制作基礎技術 (編集)	2002/7/2～ 2002/9/28	1日2時間 週2回	6名 (カウンターパート(全員))	当初C/Pは6名のみ配置
2	短期専門家による訓練	ビデオ機器操作技術	2002/11/26～ 2002/12/21	終日	8名 (カウンターパート(全員))	
3	長期専門家による訓練	ビデオ制作基礎技術 (シナリオ作成)	2002/12/25～ 2003/1/6	1日2.5時間 合計6回	8名 (カウンターパート(全員))	
4	長期専門家による訓練	ビデオ制作 (試作)	2003/1/7～ 2003/2/10	終日	6名	C/P2名は本邦研修中
5	長期専門家による訓練	ビデオ制作基礎技術 (照明)	2003/6/8～ 2003/6/14	1日2.5時間 合計3回	8名 (カウンターパート(全員))	
6	国営テレビ局専門家による訓練	音声技術 (マイク、ミキサー)	2004/4/28～ 2004/7/7	1日3時間 合計10回	8名 (カウンターパート(全員))	



Monitoring Sheet <Level 1> (Project Purpose & Outputs)

		1st year				2nd year				3rd year			
		1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4
<b>Project Purpose</b> Standards of the ITC are improved in terms of production of audio-visual aids and instruction methods.	<b>Indicators</b> Degree of understanding of participants of pedagogy courses (Examination pass ratio of graduation test becomes over 90%)	Plan											
	Actu. Plan Actu. Plan Actu. Plan Actu.												
<b>Outputs</b> 3) The ITC gains the capacity to manage the instructor's training courses on instruction methods.	<b>Indicators</b> Needs assessment and evaluation activities Working plan Curricula developed Training manuals developed for instructors Training materials developed Courses conducted Degree of understanding of C/P Degree of technology transfer	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan	Plan
	Actu. Plan Actu. Plan Actu. Plan Actu. Plan Actu. Plan Actu.												
Equipment	Classroom	Plan											
Short-term Expert	MTP Expert	Plan											
Counterpart training in Japan	Trainees' Guidance	Plan											
	Actu.												

付属資料16-7-1

15. 指導員訓練分野活動項目別実績

付属資料 6-7-2

ニーズ調査

(Pedagogy 訓練全般について)

プロジェクト開始直後、全体計画の策定に当たり先ず、Pedagogy 訓練及び AV 訓練について TVTC での現状を把握するため、AV 部門と共同で、TVTO を通じ各 TVTC に対しアンケート調査を実施した。

その後、Pedagogy 訓練 (TVTO 支部で一部実施されている) についてのアンケート調査を実施、また、TVTC に対して訓練全般状況の調査、更に AV 部門と共同での 2 回目のアンケート調査では、指導技法についての課題等を調査した。概要は次のとおり。

実施時期	調査項目	対象	備考
2002 年 7 月～ 8 月	ITC の Pedagogy 訓練に関する要望等	TVTC	AV 部門と共同で実施。
2002 年 11 月～12 月	各 TVTO 支部での民間指導員養成訓練の問題点、ITC の Pedagogy 訓練についての問題点等	TVTO 支部指導員	Pedagogy 部門のみ
2003 年 1 月～2 月	TVTC での訓練の現状及び新 Pedagogy 基準等	TVTC 指導員	Pedagogy 部門のみ
2003 年 1 月～2 月	指導技法に関する課題、要望等	TVTC 指導員	AV 部門と共同で実施。

(TWI 訓練、MTP 訓練について)

プロジェクト 2 年目に TWI 訓練及びマネジメント訓練についてのアンケート調査を実施。

実施時期	調査項目	対象	備考
2003 年 6 月～7 月	TWI 訓練に対する要望等	TVTC TWI 指導員	
2003 年 10 月	Management コース開発についての意見	セミナー参加者	

訓練評価

(新たに開発した指導員養成訓練カリキュラム及び向上訓練等について)

プロジェクト2年目から新たに開発したカリキュラムに基づき指導員養成訓練を実施しており、PG 資格未取得者訓練やパブリックサービス訓練において、その内容、指導技法、指導員の指導姿勢、AV 機器の活用、訓練評価などについて、訓練生に対するアンケート調査を実施し、その後の訓練に反映させている。

また、これまで4回のセミナーを実施しており、参加者に対しては、セミナー内容等とともに、TVTCにおける訓練で直面している課題等についてもアンケート調査を実施し、これからのPedagogy 訓練に反映させていくこととしている。概要次のとおり。

実施時期	調査項目	対象	備考
2003 年	新基準に基づく指導員養成訓練について (訓練内容、指導技法、訓練評価等全般にわたりアンケート調査を実施)  Pedagogy セミナー (新基準の紹介セミナー) (新基準、セミナー内容等についてアンケート調査を実施)	PG 資格未取得者、 パブリックサービス 訓練生等  TVTC 指導員	
2004 年	新基準に基づく指導員養成訓練について (訓練内容、指導技法、訓練評価等全般にわたりアンケート調査を実施)  向上訓練 (訓練プログラム、指導技法についてセミナー形式で実施し、訓練内容、指導技法等についてアンケート調査を実施)	同上  TVTC 指導員	

開発又は見直した訓練コース

(新規指導員養成訓練コースの見直し)

開発時期	カリキュラム内容	訓練マニュアル	訓練用教材	備考
2002年12月～ 2003年2月	職業訓練の目的、 訓練計画（訓練ニーズの把握、カリキュラム開発、レッスンプラン）、 指導技法（講義法、実技）、指導技術（AV機器など） 訓練評価	職業訓練の目的 訓練計画 } 5冊 指導技法 } 指導技術 (AV) 訓練評価	Pedagogy 教材 1冊を編集。	
2003年11月～ 2004年7月	内容を見直し第2版として作成。	同上 5冊	Pedagogy 第2 版として 1冊を編集	

(向上訓練コースの開発)

開発時期	カリキュラム内容	訓練マニュアル	訓練用教材	備考
2003年11月～ 2004年7月	訓練計画（訓練ニーズの把握、カリキュラム開発、レッスンプラン） 指導技法（講義法、実技）、指導技術（AV機器活用等） 訓練評価	新規指導員養成 コースに準ずる （「職業訓練の目的」を除く4冊 のマニュアル）	新規指導員養成 コースに準ずる （1冊の教材）	各項目を向上訓練 コース用にユニ ット化したもの

(TWI 訓練トレーナー養成訓練マニュアルの見直し)

実施時期	カリキュラム内容	訓練マニュアル	訓練用教材	備考
2004年3月～12月	Grade II JI (Job Instruction) JR (Job Relations) JS (Job Safety)	Grade II (JR,JI,JS の3冊見直し完了)	訓練マニュアルに含まれている。	ITC で行う TWI 訓練は Grade II 及び Grade I があり、Grade I は見直し中。Grade II については、可及的速やかな実施を検討中。
	Grade I JM (Job Method) Communication	見直し中 (12月 未定)		

(マネジメント訓練トレーナー養成訓練コースの開発)

2004年1月～12月 (Pedagogy 教材第2版検討等のため、暫く作業中断した)	マネジメントの基礎 問題解決と創造性 マネジメントの実践 能力開発 人間関係	12月までに完成予定。 (5冊のマニュアル作成予定)	訓練用教材はカリキュラム項目毎に原案完成済み (11月中旬に完成予定)	(TWI 資格所有者対象に実施を検討中)
--	--	-------------------------------	--	----------------------

訓練実績

1 指導員養成訓練

(PG 資格未取得者コース)

実施時期	内 容	回数	訓練生数 (人)	備 考
2002 年	指導員養成コース	3	81	PG 資格未取得者とは、指導員として TVTO に採用された者であるが、採用時 Pedagogy コースを受講できなかった指導員をいう。
2003 年	指導員養成コース	2	53	

(パブリックサービス コース)

実施時期	内 容	回数	訓練生数 (人)	備 考
2002 年	指導員養成コース	5	250	パブリックサービス コースとは、徴兵制度による約 2 年間の兵役期間のうち、兵役訓練(2 か月)を終えた者で、残りの期間 TVTC において職業訓練指導員の補助として勤務を希望するものに対する訓練をいう。
2003 年	指導員養成コース	5	210	
2004 年 (10 月 28 日現在まで)	指導員養成コース	3	115	

(職種転換コース)

実施時期	内 容	回数	訓練生数 (人)	備 考
2003 年	指導員養成コース	1	38	職種転換コースとは、TVTO の職員で、指導員への職種転換を希望する者に対する訓練をいう。

## 2 向上訓練

実施時期	内 容	回数	訓練生数 (人)	備 考
2004 年	向上訓練セミナー (訓練計画及び訓練技法)	2	123	参加者：TVTC の指導員 訓練計画セミナー (53 人参加) 訓練技法セミナー (70 人参加)

## 3 Pedagogy セミナーコース

実施時期	内 容	回数	訓練生数 (人)	注 記
2002 年	日本の職業訓練システム紹介	1	12	参加者：TVTO 本部の研究開発部員
2003 年	MTP(管理者訓練) セミナー (短期専門家植木氏により MTP セミ ナーを実施)  新規 Pedagogy コースの紹介 (日本の職業訓練システムの紹介、 Pedagogy 訓練基準の紹介、 訓練計画)	1  2	60  193	参加者：TVTC の企業訓練関係担当者  参加者：TVTC の指導員

以上、これまで、1,135 人の訓練実績がある。

(但し、プロジェクトの成果が反映されたのは、2 年目以降であり、実質的には 804 人の実績となる。

なお、プロジェクトドキュメントでも、訓練生数として、プロジェクト初年度分が含まれているが、この数字は除いて算出されるべきものと考えます。)

今後の指導員養成訓練予定 (2004年10月末以降)

訓練コース	時期	回数	訓練生数(人)	備考
新規採用指導員養成コース	TVTOにて採用手続き進行中 (来年2月中旬以降実施予定)	別途計画	約1,000	
PG資格未取得者コース	11月下旬以降実施予定	2	約50	
パブリックサービスコース	10月末から1コース もう1コースは別途計画	2	約100	

現在の計画では、今後、約1,150人の訓練予定であるが、プロジェクト期間(来年の5月末まで)内には、これら全ての訓練をすることは不可能と考えられる。新規採用指導員の数が明確になった時点で、指導員養成訓練実施計画を策定することとしている。



16. 機材管理担当者リスト

付属資料 6-8-1

Assignment of personnel to maintenance and management of equipment

NO	NAME	STATUS	REMARKS
1	Mr. Rassool KHOSHIDEH	Supervisor, AV Dept.	Equipment in the AV dept.
2	Mr. Farshid BORHAN AZAD	Supervisor, PG Dept.	Equipment in the PG dept.

17. カウンターパートによる保守管理作業記録

カウンターパートによる保守管理作業記録

付属資料6-8-2

作業日	作業内容	作業場所	作業担当者
2003年4月5日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Elahi
5月21日	カメラ点検	スタジオNo.1	Rostami
6月15日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
6月21日	カメラ点検	スタジオNo.1	Rostami
6月29日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
11月10日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
11月11日	メンテナンスマニュアル説明	AV教室	Elahi
11月18日	機器点検	No2.コントロール室	Elahi
11月19日	ケーブル点検	No2.コントロール室	Elahi
12月14,22,23日	ABロール編集用設置	No2.コントロール室	Elahi
12月15日	機材在庫リスト作成、点検	倉庫	Rostami
2004年3月7日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
3月15日	カメラ点検	スタジオNo.1	Rostami
3月15日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
4月5日	新規購入機材点検	倉庫	Rostami
4月6日	部品、パーツリスト作成	倉庫	Rostami
4月7日	部品、パーツ在庫点検	倉庫	Rostami
6月13日	カメラクリーニング	スタジオNo.1	Rostami
6月15日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
6月27日	カメラ点検	スタジオNo.1	Rostami
8月8日	VTR入れ替え	No2.コントロール室、簡易編集室	Elahi
8月9日	ミキサー点検	簡易編集室	Hashemi
8月15日	ラックマウントキット据付	No2.コントロール室	Elahi
9月20日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
9月25日	プロジェクター点検	AV教室(PG)	Elahi
10月9日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
10月11日	プロジェクター点検	AV教室	Elahi
10月24日	VTR時間計点検	編集室、簡易編集室、コントロール室	Khoshide
2003年6月	MMP(Maintenance Management Program)の理解	コンピュータ室	Khoshide
2003年7月～8月中旬	MMPソフトウェアへのデータ入力	コンピュータ室	Khoshide
2003年9月上旬	MMPソフトウェアへのデータ入力	コンピュータ室	Khoshide
2003年11月上旬	MMPソフトウェアへのデータ入力	コンピュータ室	Khoshide

資料XX カウンターパートアンケート調査結果要旨 (2)  
(指導技法部門：6名)

18. カウンターパートアンケート結果

1 各職務分野に示されている内容の達成度をチェックし、当てはまる欄にXを記入して下さい。(未回答あり。)

職務分野	項目	No	内容	達成度				
				大変良く 出来る	良く 出来る	出来る	少し 出来る	出来ない
視聴覚教材・教材管理	教材管理	1	機材管理台帳					
	教材管理	2	教材保管・管理					
	消耗品管理	3	消耗品在庫目録					
視聴覚教材の開発・制作	開発計画	4	基礎調査					
	視聴覚教材の開発・制作	5	ITVC等へのニーズ調査					
		6	マニュアル開発					
		7	視聴覚教材の制作					
新規訓練コース開発 (視聴覚教材および指導技法)	コース開発計画	8	基礎調査 (目的の確認等を含む)	1	5			
	コース計画	9	ニーズ調査	1	3	1		
	教材・テキスト開発	10	機材や教材の計画	3	1	2		
		11	教材の特定	2	2	1		
	訓練実施	12	実習教材の開発		6			
		13	受講生オリエンテーション	2	4			
		14	訓練実施	3	3			
15		訓練コース報告	3	3				
訓練マネジメント	16	訓練進捗管理・マネジメント	1	5				
	17	訓練評価システム	2	4				

2 協力期間終了後の課題・問題点等	問題なし	大きな問題はない	多少問題あり	深刻な問題あり
(1) 技術面	1	4	1	
(2) 経営/運営面	1	5		
(3) 財政面		4	2	

(4) 自立発展のために必要な措置

情報提供を含めJICAとのコンタクトを継続する。計画、実施および評価を一環して行うチームをつくる。

3 JICA専門家、JICA、JTCやTVIO等への要望、コメント等を自由にご記入ください。

日本人専門家 (長期・短期とも) の資質は高く、その働きぶりに感謝したい。イラン側 (マネジメント) はもっと協力できたように思える。

資料 3 計画の達成度 (プロジェクト実績表)

イラン・イسلام共和国職業訓練視聴覚教材向上計画終了時評価調査

実績	項目		必要なデータ	調査結果
	大項目	小項目		
実績	上位目標の達成度 (職業訓練センター (TVC: Technical and Vocational Training Center)に おいて質の高い職業 訓練が行われる。)		IITCで制作されたビデオの活用度 TVCで制作された視聴覚教材の 数量、制作時期、品質。 IITCの、視聴覚教材と指導技法に おける指導員養成コースで訓練 を受けた指導員による、職業訓練 の数、時期、質	現時点で上位目標の達成度について評価するのは時期尚早であるが、本プロジェクトが制作・配布したビデオ教材の数が少しずつではあるが着実に増加して、IITCで活用されていること (17本が制作済み、うち、13本を配布済) また、ビデオ教材制作及び指導技法の訓練コースが開催されて、その参加者が着実に増加している事実から、上位目標達成に向かって進んでいる過程にあると勘案される。
	プロジェクト目標の 達成度 (IITCにおいて、職 業訓練のための視聴 覚教材制作技術及び 指導技法の水準が向 上する。)		IITCで制作されたビデオ教材の本 数、時期、品質 (ビデオ制作対象コース数は14 コース)	2003年9月~2004年10月までに10分野における17本のビデオ教材が作成された。10分野の内訳は、自動車整備、電子、CNC、工業電機、IT、アーク溶接、溶接試験、電子油圧・空気圧、自動車電機、視聴覚教材である。現地踏査を行ったアラック、サーウェ及びカラジにおけるIITCの指導員及び訓練生によれば、本プロジェクトが制作・配布したビデオ教材の質に関する評価は総じて高い。ただ、一部には、様々な注文 (時間が短い、基礎的すぎる、スタンダードに合っていない等) も寄せられている。なお、新規に雇用された指導員に対する指導技法コースは、プロジェクト開始以降、本評価調査時点に至る期間内には、まだ実施されていない。
		指導技法コース受講生の理解度 (終了試験合格率が9割になる)		2002年におけるPC資格未取得者コースやパブリックサービスコースの合格率はそれぞれ62%と50%だったが、2003年にはそれぞれ81%と79%に、また、2003年の職種転換コースや2004年のパブリックサービスコースではそれぞれ100%となっており、ほぼ目標が達成されているのがわかる。
	(成果) アウトプットは、計画通り産出されているか。	1) IITCに視聴覚教材 開発・制作・使用に 必要な機材が導入さ れ、職員が機材の保 守管理手法を習得 し、常時使用可能な 体制となる。	作業計画(完了時期、内容) 制作された日常保守管理マニ ュアルの数、時期、内容 実施された訓練の回数、時期、出 席者 日常保守活動記録	作業計画及びモニター用シートは2002年に作成された。 保守管理マニュアルを1つ作成。 保守管理の訓練コースが短期専門家及びイラン国営テレビの専門家によって2003年から2004年にかけて4回実施された。参加者はC/Pである。 日常的な機材の保守管理は全カウンターパートが行っているが、特に両部門のカウンターパート各1名を保守管理責任者として指名している。保守管理記録はカウンターパートによって作成され、きちんと管理されている。
		C/Pの理解度が85%までになる。 技術移転の程度		日本人長期専門家による評価、短期専門家を実施した試験結果及びカウンターパートによる自己評価によれば、この成果に関する「カウンターパートの理解度」は平均して85%以上となっている。 日本人専門家による、この成果に関する技術移転は成功裏に行われており、本終了時評価の際に実施したカウンターパートへのアンケート結果を見ても、彼らの大部分が所属する部門における主要な技術において自信をもっていているのがわかった。

項目		調査結果
大項目	小項目	
	2) ITC で適切なビデオ教材を用いたビデオ教材の開発・制作ができるようになる。	<p>必要データ</p> <p>ニースアセスメント、評価作業の実施時期、内容</p> <p>作業計画(完了時期、内容)</p> <p>制作された訓練マニュアルの数、時期、内容</p> <p>実施された訓練の回数、時期、内容、出席者</p> <p>制作されたビデオの本数、時期、品質(ビデオ制作対象コース数は14コース)</p> <p>C/Pの理解度が85%までになる。</p> <p>技術移転の程度</p>
	3) ITC が、視聴覚教材制作と指導技法における、指導員訓練コースを運営できるようになる。	<p>必要データ</p> <p>ニースアセスメント、評価作業の実施時期、内容</p> <p>作業計画(完了時期、内容)</p> <p>カリキュラムの開発</p> <p>制作された訓練マニュアルの数/コース別、時期、内容</p> <p>開発された教材数/コース別、時期、内容</p> <p>実施されたコースの回数、時期、内容、出席者</p>

項目		調査結果	
大項目	小項目	必要なデータ	
		C/Pの理解度が85%までになる。	AV)及びPG)日本人長期専門家による評価によれば、この成果に関する「カウンターパートの理解度」は平均して85%以上となっている
		技術移転の程度	日本人専門家による、この成果に係る技術移転は成功裏に行われており、本終了時評価の際に実施したカウンターパートへのアンケート結果を見ても、彼らの大部分が所属する部門における主要な技術において自信をもっていているのがわかった。
投入は、計画通りか	イラン側投入	1 イラン人カウンターパートと総務担当者の配置 2 建物及び設備 3 予算配分(プロジェクトに投入した費用)	ビデオ教材で8名、指導技法で6名。総務担当者はITCの副所長。 日本人専門家の執務スペース、供与機材の保管スペース等を提供。スタジオを改築。 約52億リアル(約607千ドル)を投入。
	日本側投入	1 長期専門家： 2 短期専門家 3 カウンターパート本邦研修(研修生受入) 4 機材供与 5 現地業務費	4名 6名 ビデオ教材で8名、訓練指導で4名
活動の実績		1) ITCに視聴覚教材開発・制作・使用に必要な機材が導入され、職員が機材の保守管理手法を習得し、常時使用可能な体制となる。 2) ITCで適切なビデオ機材を用いたビデオ教材の開発・制作ができるようになる。	視聴覚教材作成機材を中心に約146百万円。 2002年度：7290千円、2003年度：6151千円、2004年度(9月まで)：2000千円 機材調達及び保守に関する作業計画が策定された。 必要な機材は適切に設置された。 ビデオ関連機材の日常保守管理マニュアルが作成された。 保守管理技術に関する4回の訓練が実施された。 日常保守管理マニュアルに沿った管理が実施されている。 ビデオ教材制作のための、ニーズ調査及び評価活動が3回実施された。 作業計画書が作成された。 10本のビデオ制作教材用のマニュアルと24本の機器操作マニュアルがそれぞれ開発された。 ビデオ制作技術に関する訓練コースが、長期専門家、短期専門家及びイラン国営テレビ局専門家によって実施された。 2003年9月～2004年10月までに10分野、17本のビデオ教材が作成された。

項目		必要なデータ	調査結果
大項目	小項目		
	3) ITC が、視聴覚教材制作と指導技法における、指導員訓練コースを運営できるようになる。	<p>1 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係るニーズアセスメント及び評価作業を実施する。</p> <p>2 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る作業計画を作成する。</p> <p>3 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係るカリキュラムを開発する。</p> <p>4 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る視聴覚部門と指導技法部門のスタッフを対象とするマニュアルを開発する。</p> <p>5 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る、受講者用訓練教材を開発する。</p> <p>6 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースを実施する。</p>	<p>両部門でニーズ調査及び評価活動が実施された。</p> <p>両部門で作業計画書が作成された。</p> <p>両部門でカリキュラムが開発された。</p> <p>両部門でマニュアルが開発された。</p> <p>両部門で訓練用教材が作成された。</p> <p>両部門で訓練コースが実施された。</p>

活動の プロセス	項目		必要なデータ	結果
	大項目	小項目		
P0に 沿った 活動 状況 技術 移転 の 方法			問題点や課題、その対処法 技術移転の手法における問題点 や課題等	特に大きな問題はない。 技術移転は講義や実習を通じて効率的に実施された。
	プロジェクト マネジメント	モニタリング	モニタリングシステム 合同調整委員会(JCC)や運営委 員会(SC)の機能 PDMの見直し 外部条件の変化	活動状況のモニタリングは、合同調整委員会(JCC)及びプロジェクト運営委員会(SC)が行っている。 また、同委員会は有効に機能している。 PDMについては、当初PDMからの変更はないものの、成果の一部の指標(カウンターパートの理解度)を合同調整委員会で確定した。本終了時評価ではその指標を利用した。 PDMの外部条件の変化は見られない。
		日本人専門家と カウンターパートとの関係		カウンターパートと日本人専門家は良好な関係(コミュニケーション)を築いており、問題意識を共有している。
	TV10及びITCのオー ナーシナップ		TV10やITC幹部の関与 予算配分 C/Pの配置	プロジェクト開始後、ITCの所長は3人目となるが、総じて、カウンターパートのプロジェクトに対するオーナーシナップ(の意識)は高い。 予算の執行が一部遅れることがあるが、概ね問題ない。 C/Pの配置はほぼ適切である。



